

新生児理学療法

◆◆◆ 対 象 ◆◆◆

新生児集中治療室(NICU)・新生児病棟に入院した赤ちゃん

■新生児発達評価

1,500g 未満で生まれた極低出生体重児などに、赤ちゃんの全身運動を評価する GMs(自発運動)評価、神経学的特徴を評価する Dubowitz(新生児神経学的)評価を行っています。



■ポジショニング

早く生まれた赤ちゃんの筋緊張や発達を促すために母体内の胎児に近い姿勢をとります。障害がある児の身体の変形・拘縮を予防するためや、入院が長期になる児の発達を促すために姿勢調整を行います。

■哺乳支援

哺乳が未熟な赤ちゃんに哺乳評価と支援を行います。評価では乳首を吸う力、誤嚥の有無、乳首を吸い嚥下するリズムを観察し、直接母乳や哺乳瓶の選択や抱っこの姿勢調整などの支援を行います。



■発達支援

発達がゆっくりな赤ちゃんの、見る聞く、頭を起こす、手を口元へ持っていく力などをつけるための支援を行います。手足に力が入りやすい赤ちゃんには、赤ちゃん体操やタッチケアなどを行います。